



2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月10日

上場会社名 科研製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4521 URL <https://www.kaken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 近藤 康彦

TEL 03-5977-5002

定時株主総会開催予定日 2023年6月29日

配当支払開始予定日

2023年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	72,984	4.0	7,998	53.1	8,727	50.3	5,440	43.0
2022年3月期	76,034	1.4	17,064	4.1	17,542	3.7	9,549	28.8

(注) 包括利益 2023年3月期 5,475百万円 (42.7%) 2022年3月期 9,563百万円 (42.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	144.80		4.0	5.3	11.0
2022年3月期	251.43		7.0	10.7	22.4

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	166,328	136,836	81.9	3,636.17
2022年3月期	165,181	138,325	83.4	3,642.34

(参考) 自己資本 2023年3月期 136,258百万円 2022年3月期 137,747百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	9,253	2,627	6,990	74,260
2022年3月期	13,336	7,888	8,129	74,625

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		75.00		75.00	150.00	5,678	59.7	4.2
2023年3月期		75.00		75.00	150.00	5,625	103.6	4.1
2024年3月期(予想)		75.00		75.00	150.00		83.9	

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,100	0.2	7,600	5.0	8,000	8.3	6,700	23.2	178.80

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料10ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	45,939,730 株	2022年3月期	45,939,730 株
期末自己株式数	2023年3月期	8,466,780 株	2022年3月期	8,121,361 株
期中平均株式数	2023年3月期	37,571,209 株	2022年3月期	37,978,940 株

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式が含まれております(2023年3月期 33,400株、2022年3月期 38,500株)。また、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2023年3月期 35,021株、2022年3月期 38,776株)。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定であります。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15
(役員の異動)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループの当連結会計年度の業績は、減収減益となりました。

売上高は72,984百万円(対前年同期比4.0%減)となり、その減収の主たる要因としては、薬価改定や競合品の影響があげられます。

利益面では、売上高の減少及び販売費及び一般管理費の増加等により、営業利益は7,998百万円(対前年同期比53.1%減)、経常利益は8,727百万円(対前年同期比50.3%減)となりました。販売費及び一般管理費が増加した主たる要因は、研究開発費が対前年同期比87.5%増加し、15,789百万円となったためであります。親会社株主に帰属する当期純利益は当社の連結子会社でありますARTHAM Therapeutics株式会社の開発品である水疱性類天疱瘡治療剤「ART-648」に関する減損損失計上による特別損失が発生したことにより、5,440百万円(対前年同期比43.0%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 薬業

医薬品・医療機器につきましては、原発性腋窩多汗症治療剤「エクロック」の売上が増加したものの、関節機能改善剤「アルツ」、癒着防止吸収性バリア「セプラフィルム」等の売上減少により減収となりました。その背景としましては、薬価改定や競合品の影響等があげられます。

農業薬品につきましては増収となりました。

この結果、売上高は70,562百万円(対前年同期比4.2%減)、セグメント利益(営業利益)は6,707百万円(対前年同期比57.3%減)となりました。

なお、海外売上高は7,232百万円(対前年同期比4.0%増)となりました。

② 不動産事業

不動産事業の主たる収入は文京グリーンコート関連の賃貸料であります。売上高は2,422百万円(対前年同期比0.5%増)、セグメント利益(営業利益)は1,290百万円(対前年同期比4.6%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は166,328百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,147百万円の増加となりました。これは主に、繰延税金資産の増加によるものであります。

負債は29,491百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,636百万円の増加となりました。これは主に、未払金の増加によるものであります。

また、純資産は136,836百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,489百万円の減少となりました。これは主に、自己株式の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ364百万円減少の74,260百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は9,253百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,627百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は6,990百万円となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	77.7	81.4	83.4	83.4	81.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	128.1	124.0	101.7	89.1	83.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	18.3	14.0	26.8	28.9	41.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1,219.8	1,566.6	836.98	779.5	540.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

※利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

次期の業績につきましては、売上高は、薬価改定の影響はあるものの、「アルツ」、「エクロック」等が伸長することから、全体としては増収を見込んでおります。利益につきましては今期発生しました特別損失が次期は発生しないことなどから、増益となる予定であります。売上高は73,100百万円、営業利益は7,600百万円、経常利益は8,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は6,700百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、海外に連結子会社を持たない現状を踏まえ、日本基準を適用しております。

日本の会計基準は、これまでのコンバージェンスの結果、高品質かつ国際的に遜色のないものとなっていると認識しておりますが、引き続き、金融庁企業会計審議会での議論等を注視しつつ、会計基準の適切な選択につとめてまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,025	59,561
受取手形、売掛金及び契約資産	20,260	19,268
有価証券	13,599	14,699
商品及び製品	5,807	6,734
仕掛品	2,964	2,481
原材料及び貯蔵品	6,209	6,348
その他	746	809
貸倒引当金	—	△0
流動資産合計	110,613	109,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	42,829	43,066
減価償却累計額	△25,687	△26,633
建物及び構築物（純額）	17,142	16,433
機械装置及び運搬具	15,708	16,612
減価償却累計額	△13,452	△13,880
機械装置及び運搬具（純額）	2,256	2,732
工具、器具及び備品	7,819	8,463
減価償却累計額	△6,425	△6,676
工具、器具及び備品（純額）	1,393	1,787
土地	3,867	3,867
建設仮勘定	1,074	677
有形固定資産合計	25,734	25,498
無形固定資産		
仕掛研究開発	7,300	5,800
その他	936	941
無形固定資産合計	8,236	6,741
投資その他の資産		
投資有価証券	17,093	17,511
長期前払費用	1,190	1,012
繰延税金資産	1,725	3,873
その他	587	1,788
投資その他の資産合計	20,596	24,185
固定資産合計	54,567	56,425
資産合計	165,181	166,328

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,861	6,130
電子記録債務	78	89
短期借入金	3,850	3,850
未払金	3,543	5,824
未払費用	345	596
未払法人税等	2,436	2,004
賞与引当金	984	942
役員賞与引当金	65	23
その他	1,884	1,377
流動負債合計	19,049	20,838
固定負債		
株式給付引当金	106	117
退職給付に係る負債	5,039	6,349
繰延税金負債	2,229	1,771
その他	431	414
固定負債合計	7,806	8,653
負債合計	26,855	29,491
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,853	23,853
資本剰余金	11,406	11,406
利益剰余金	126,347	126,135
自己株式	△28,714	△30,026
株主資本合計	132,893	131,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,551	4,724
退職給付に係る調整累計額	301	165
その他の包括利益累計額合計	4,853	4,889
非支配株主持分	578	578
純資産合計	138,325	136,836
負債純資産合計	165,181	166,328

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	76,034	72,984
売上原価	34,458	33,428
売上総利益	41,575	39,555
販売費及び一般管理費		
給料	5,662	5,605
賞与及び賞与引当金繰入額	1,302	1,222
役員賞与引当金繰入額	65	23
退職給付費用	375	341
研究開発費	8,420	15,789
減価償却費	258	291
その他	8,426	8,282
販売費及び一般管理費合計	24,511	31,556
営業利益	17,064	7,998
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	390	431
補助金収入	37	149
その他	109	191
営業外収益合計	543	780
営業外費用		
支払利息	17	17
為替差損	31	—
投資事業組合運用損	—	27
その他	17	6
営業外費用合計	66	51
経常利益	17,542	8,727
特別利益		
固定資産売却益	195	2
投資有価証券売却益	1	1
特別利益合計	197	4
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	97	48
減損損失	2,994	1,863
契約損失	762	—
特別損失合計	3,854	1,914
税金等調整前当期純利益	13,885	6,817
法人税、住民税及び事業税	4,513	3,998
法人税等調整額	△177	△2,621
法人税等合計	4,336	1,377
当期純利益	9,549	5,440
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	9,549	5,440

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	9,549	5,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△187	172
退職給付に係る調整額	202	△136
その他の包括利益合計	14	35
包括利益	9,563	5,475
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	9,563	5,475
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	23,853	11,406	122,462	△26,304	131,418	4,739	99	4,839	—	136,257
会計方針の変更による累積的影響額			51		51					51
会計方針の変更を反映した当期首残高	23,853	11,406	122,514	△26,304	131,470	4,739	99	4,839	—	136,309
当期変動額										
剰余金の配当			△5,716		△5,716					△5,716
親会社株主に帰属する当期純利益			9,549		9,549					9,549
自己株式の取得				△2,414	△2,414					△2,414
自己株式の処分		0		5	5					5
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△187	202	14	578	593
当期変動額合計	—	0	3,833	△2,409	1,423	△187	202	14	578	2,016
当期末残高	23,853	11,406	126,347	△28,714	132,893	4,551	301	4,853	578	138,325

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	23,853	11,406	126,347	△28,714	132,893	4,551	301	4,853	578	138,325
当期変動額										
剰余金の配当			△5,652		△5,652					△5,652
親会社株主に帰属する当期純利益			5,440		5,440					5,440
自己株式の取得				△1,340	△1,340					△1,340
自己株式の処分				27	27					27
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						172	△136	35	—	35
当期変動額合計	—	—	△211	△1,312	△1,524	172	△136	35	—	△1,489
当期末残高	23,853	11,406	126,135	△30,026	131,368	4,724	165	4,889	578	136,836

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	13,885	6,817
減価償却費	2,481	2,546
減損損失	2,994	1,863
のれん償却額	5	22
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△44	△77
受取利息及び受取配当金	△397	△439
支払利息	17	17
投資事業組合運用損益 (△は益)	—	27
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△1
有形固定資産除却損	97	48
有形固定資産売却損益 (△は益)	△195	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	392	972
棚卸資産の増減額 (△は増加)	241	△583
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,630	280
その他	542	1,746
小計	17,387	13,240
利息及び配当金の受取額	397	439
利息の支払額	△17	△17
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△4,431	△4,409
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,336	9,253
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,986	△1,987
有形固定資産の売却による収入	704	12
無形固定資産の取得による支出	△271	△219
投資有価証券の取得による支出	—	△200
投資有価証券の売却による収入	5	5
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△4,975	—
その他	△365	△237
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,888	△2,627
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額 (△は増加)	△2,414	△1,340
配当金の支払額	△5,714	△5,649
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,129	△6,990
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,680	△364
現金及び現金同等物の期首残高	77,305	74,625
現金及び現金同等物の期末残高	74,625	74,260

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

1. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、医薬品、医療機器及び農業薬品の製造・販売並びに不動産賃貸の事業を営んでおり、業種別に事業に従事する経営スタイルを採用しております。また、各事業の運営は、事業ごとに主体的に行われ、包括的な事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業の運営を基礎とした業種別のセグメントから構成されており、「薬業」及び「不動産事業」の2つを報告セグメントとしております。

「薬業」は、医薬品、医療機器及び農業薬品の製造・販売を主とし、「不動産事業」は、文京グリーンコート関連の不動産賃貸を主としております。

(2) 報告セグメントごとの売上高、利益、資産及びその他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益であります。

なお、共用資産については、各報告セグメントに配分しておりませんが、関連する費用については、合理的な基準に基づき各報告セグメントに配分しております。

(3) 報告セグメントごとの売上高、利益、資産及びその他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (百万円) (注) 1	連結財務諸表 計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
商品及び製品の販売	71,641	—	71,641	—	71,641
製品の販売等に関する ライセンス契約	1,982	—	1,982	—	1,982
顧客との契約から生じる 収益	73,623	—	73,623	—	73,623
その他の収益	—	2,410	2,410	—	2,410
外部顧客への売上高	73,623	2,410	76,034	—	76,034
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	73,623	2,410	76,034	—	76,034
セグメント利益	15,710	1,353	17,064	—	17,064
セグメント資産	75,581	10,393	85,974	79,206	165,181
その他の項目					
減価償却費 (注) 2	2,699	322	3,022	—	3,022
のれんの償却額	5	—	5	—	5
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額 (注) 2	11,347	508	11,856	—	11,856

- (注) 1. セグメント資産の調整額79,206百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金であります。
2. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用が含まれております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (百万円) (注) 1	連結財務諸表 計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
商品及び製品の販売	68,785	—	68,785	—	68,785
製品の販売等に関する ライセンス契約	1,776	—	1,776	—	1,776
顧客との契約から生じる 収益	70,562	—	70,562	—	70,562
その他の収益	—	2,422	2,422	—	2,422
外部顧客への売上高	70,562	2,422	72,984	—	72,984
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	70,562	2,422	72,984	—	72,984
セグメント利益	6,707	1,290	7,998	—	7,998
セグメント資産	74,223	10,090	84,314	82,013	166,328
その他の項目					
減価償却費 (注) 2	2,747	322	3,070	—	3,070
のれんの償却額	22	—	22	—	22
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額 (注) 2	2,770	19	2,789	—	2,789

(注) 1. セグメント資産の調整額82,013百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金であります。

2. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用が含まれております。

2. 関連情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(1) 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

①売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

②有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

(3) 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高 (百万円)	関連するセグメント名
アルフレッサ(株)	13,486	薬業
(株)メディセオ	11,237	薬業
(株)スズケン	11,192	薬業

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(1) 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

①売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

②有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

(3) 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高 (百万円)	関連するセグメント名
アルフレッサ(株)	13,132	薬業
(株)メディセオ	10,420	薬業
(株)スズケン	10,349	薬業

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

	報告セグメント			その他 (百万円)	全社・消去 (百万円)	合計 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)			
減損損失	2,994	—	2,994	—	—	2,994

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

	報告セグメント			その他 (百万円)	全社・消去 (百万円)	合計 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)			
減損損失	1,863	—	1,863	—	—	1,863

4. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

	報告セグメント			その他 (百万円)	全社・消去 (百万円)	合計 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)			
当期償却額	5	—	5	—	—	5
当期末残高	312	—	312	—	—	312

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

	報告セグメント			その他 (百万円)	全社・消去 (百万円)	合計 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)			
当期償却額	22	—	22	—	—	22
当期末残高	230	—	230	—	—	230

(注)「薬業」セグメントにおいて、のれんの減損損失 59百万円を計上しております。

5. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報
該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	3,642円34銭	3,636円17銭
1株当たり当期純利益	251円43銭	144円80銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は、株式給付信託(BBT)を導入しております。株主資本において自己株式として計上している信託が保有する当社株式は、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めており、また、1株当たり当期純利益の算定上、普通株式の期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。
1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度38,500株、当連結会計年度33,400株であり、1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度38,776株、当連結会計年度35,021株であります。
3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	9,549	5,440
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	9,549	5,440
普通株式の期中平均株式数(千株)	37,978	37,571

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	138,325	136,836
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	578	578
(うち非支配株主持分(百万円))	(578)	(578)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	137,747	136,258
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	37,818	37,472

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(役員の変動)

(1) 代表者の変動

該当事項はありません。

(2) その他の役員の変動(2023年6月29日付 予定)

① 新任取締役候補

取締役	綿貫 充	(現 執行役員研究開発本部長)
-----	------	-----------------

② 退任予定取締役

取締役	田邊 芳男	(経営顧問就任予定)
-----	-------	------------

③ 新任監査役候補

監査役	石田 直行	(現 執行役員)
-----	-------	----------

社外監査役	小山 雅博	(現 明治安田ビジネスプラス株式会社 代表取締役会長)
-------	-------	-----------------------------

④ 退任予定監査役

監査役	土井 直巳	(経営顧問就任予定)
-----	-------	------------

社外監査役	遠藤 宏歳	
-------	-------	--